



平成 23 年 3 月 30 日

各 位

会社名 三菱重工業株式会社
代表者 取締役社長 大宮 英明
(コード番号 7011)
上場取引所 東 大 名 福 札
問合せ責任者 総務部長 矢神 俊郎
(TEL03-6716-3111)

太陽電池事業の生産体制見直しに伴う損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 3 月 30 日開催の取締役会において、当社の太陽電池事業の生産体制の見直しを行うことを決定いたしました。この決定に伴い、平成 23 年 3 月期決算において損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 太陽電池事業の生産体制見直しについて

当社は 2002 年に長崎造船所諫早工場（長崎県諫早市）にシリコン薄膜太陽電池の生産設備を建設し、太陽電池事業へ参入、それ以降、生産・販売を行ってまいりました。太陽電池市場は各国の導入推進政策により順調に拡大しておりますが、今後の主力市場は、これまでの欧州に加え、高温に強い薄膜太陽電池の優位性が発揮できる東南アジア・インド等にも拡大していく見通しとなっております。

しかしながら、急激な円高や中国・台湾メーカーの台頭による競争の激化により、太陽電池価格の下落が進み、当社にとっては更なるコスト競争力の強化が喫緊の課題となっております。そこで、当社は、シリコン薄膜太陽電池の生産体制を見直し、コスト競争力の強化が期待できる海外への生産移管を軸に、有効な生産体制のあり方を詳細検討していくこととしました。なお、諫早工場では更なる高効率シリコン薄膜太陽電池の開発を継続すると共に、国内向けを中心に生産・販売を従来どおり継続いたします。

2. 損失の計上について

上記の生産体制見直しに伴い、諫早工場の生産設備については、一部を除き稼働停止とすることを決定し、これにより発生する生産設備の減損損失等約 170 億円の特別損失を、平成 23 年 3 月期決算にて計上する予定です。

3. 今後の見通し

当社の平成 23 年 3 月期の通期業績予想につきましては現在精査中であり、今後修正の必要があると判断した場合には速やかに公表いたします。

以 上